

# 月報 岡崎の教育



**12月号**

平成2年12月1日

発行 / 編集

岡崎市教育委員会

朝一番の空気は  
身体ばかりか心もひきしめる。  
車のフロントガラスは  
霜をいっぱいにつけている。  
アクセルを踏み  
福岡の朝にむかう。

聞こえてくる  
君たちの鼓動……。

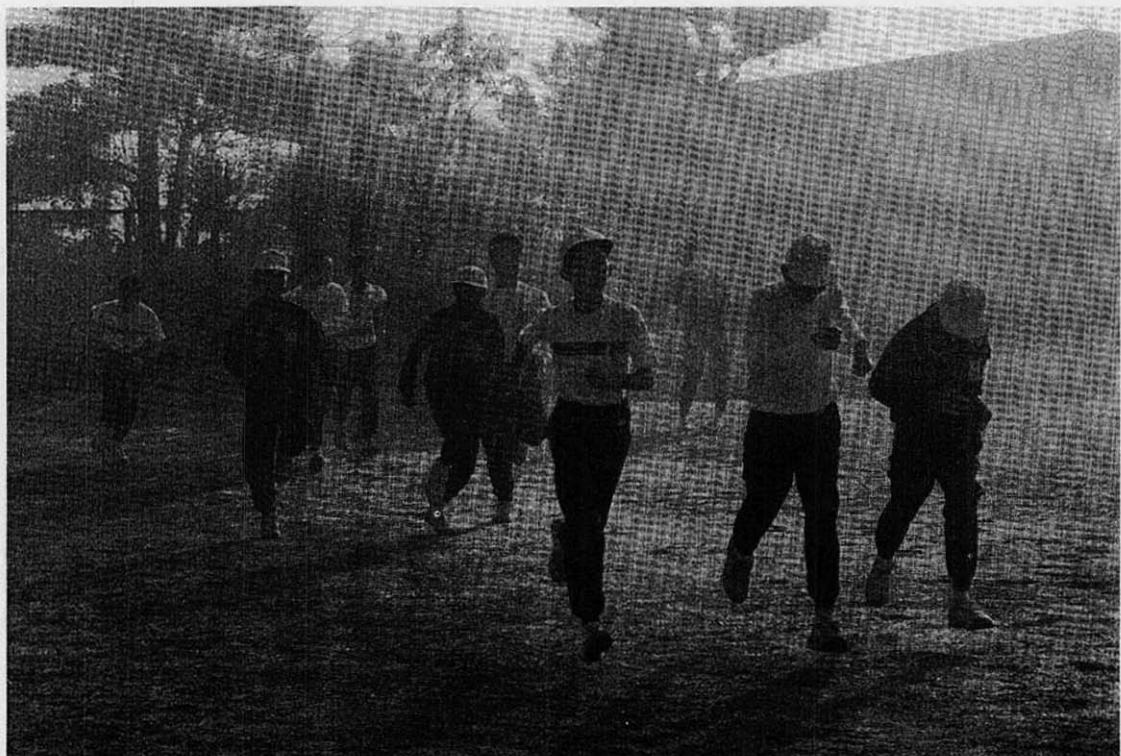
ドアを開け グラウンドに立つ。  
小さな鼓動も  
大きな鼓動も  
目標にむかって走っている。  
はきだす息の白さ。  
紅潮したその表情。

拳は強く握りしめられたまま……。

駆け抜ける君たち。  
振りあげた足が描く軌跡は  
描く軌跡は  
人生のランニングロード。

福岡の朝は鼓動で始まる。  
朝もやはもう、動き出している……。

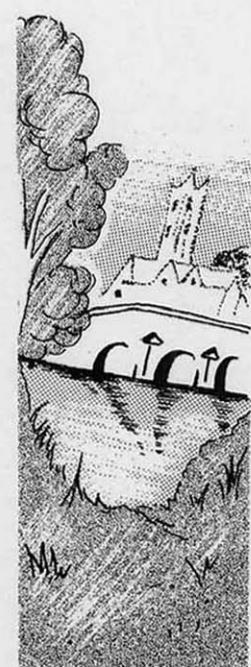
（福岡の朝）



（福岡の朝 — 福岡中）

— 教育隨想 —

上地焼の紹介



ます。岡崎市上地にある矯正施設、岡崎医療刑務所でも窓業の試みがなされていることについてご紹介致しましょう。

精神障害者の作業療法として、陶芸が採り入れられることがあるということは一般にもよく知られています。それは障害者の欲求を満たして治療的効果がたらされるとともに社会復帰に必要となる職業上の技術を付与するという目的が果たされるからとされております。しかしあれわれはそればかりではなく、もつと大切な効果を期待しているのです。そしてそれは心ある市民の皆さんのご協力なくしては実現しません。さいわい市民の皆さんのがこうした工芸品に寄せる想いに熱いものが感じられ、私は深く感謝し

木 橋 寛

村橋寛は現在上地四丁目となつてゐる施設の所在地小田ヶ入が、當時上地町と呼ばれていたことから、町名をそのまま冠したものであり、地域社会との連係を密接なものとして、地域に貢献することができた。展示会もその名を「上地焼作品展」とし、市内の画廊で行われ、新聞には催物として掲載されます。一般には刑務所業製品展示会などという、いかめしい名称となるのですが、岡崎のセンスはそれを持ったのであります。そしてまたご協力を惜しまれない情熱を持つたお人柄であつたからです。

月が変わって、学級の係を決め直す六年生の学級会。掲示係を決めていた。

一、五班の手が挙がった。司会者は、全員そろって挙手した五班から、活動方針を言うよう指示した。

「時間割を大きく書き直します。掲示物の上に見出しを付けます。学級のできごとを、歴史のようなものとして、まとめて表にします。班全員で、期間内に必ずやりとげます。」

特別活動指導員

三

木浦先生は、今も篤志直接委員として積極的な活動を続けておられます。窯業工場には足しげくお出でになり受刑者に優しく声を掛けられます。窯開(かまあげ)は月に三回ほどであります。良い形だ、おもしろい色だ、誰が作ったよくやつた、すばらしいとおっしゃらない日はありません。不良品が出ても一言たりとも心ない言葉はありません。心配そうに近づいてきた受刑者に、「どうしてだろ、わわれわれは、旅館夕教育といふ形でこの作品展を見学させに引率して行きます。全国数ある刑務作業品展示会に受刑者が自身が見学に出掛けるということは、ありそうで実はあまりないことなのです。施設の活動が市民の生活に溶け込んでいて、受刑者は社会生活への自信を高めて、受刑口をつかみます。こうした岡崎の教育的風土は誇らしく語ができるものと、私は固く信じています。

たし、これからもやります。授業は教室を明るくするために、作り変えたり、はりえたりします」

この時、班員のKが「オレ、やらないよ」と言つた。他の班から「班がまとまつていない二班は失格だ!」と、一齊に非難の声がわいた。班長は予期しなかつたできごとに慌てて「そんなことはあり

は労いの言葉を掛けられ、折り節、工夫のヒントをこぼされる、実に絶妙のご指導を賜ります。

上地焼の製品は、主として、花器、茶器の類です。釉薬（うわぐすり）は自然釉といわれる櫻灰釉などの木灰釉のほか、瀬戸黒・白萩、織部・黄瀬戸釉が用いられ、素朴なぬくもりを持ったものに仕上げられています。名称は当時の施設長であられた、房宗秀夫氏によるもので、これは現在上地四丁目となっている施設の所在地小田ヶ入が、当時上地町と呼ばれていたことから、町名をそのままに冠したものであり、地域社会との連係を密接なものとし、地域に貢献することができるようにとの願いが込められています。

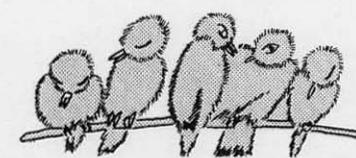
展示会もその名を「上地焼作品展」とし、市内の画廊で行われ、新聞には催され物として掲載されます。一般には刑務作業製品展示会などという、いかめしい名前となるのですが、岡崎のセンスはそれを許さなかったのでしょうか。そしてまたわれわれは、施設外教育という形でこの作品展を見学させに引率して行きます。全国数ある刑務作業製品展示会に受刑者の自身が見学に出掛けるということは、ありそうで実はあまりないことなのです。施設の活動が市民の生活に溶け込んでいて、受刑者は社会生活への自信を高める糸口をつかみます。こうした岡崎の教育的風土は誇らしく語ることができるものと、私は強く信じています。

An illustration of a lit candle in a simple holder. Above the candle, the characters '羅針盤' (Kompass, Compass) are written in a stylized, blocky font.



ふるさとシリーズ

## この人に聞く



## いちご作り

新海 清平 氏

老若男女を問わず、誰からも好まれて、いちごの一つにいちごがある。今回、岡崎市いちご生産組合の組合長をしてみえる新海清平氏を宇頭町の自宅に訪問し、いちご作りの歩みや現状をお聞きした。

「矢作地区で栽培が始まったのは昭和三十年頃からです。当時、安城にいた県の農業普及員が指導したのがきっかけですが、大大的に行われるようになつたのは岡崎市に合併してからです。他の野菜に比べ、いちごの価格が安定していたからでしょう。昭和三十四、五年からは『いちご狩り』を行つまでになりました」

いちご狩りを途中でやめてしまったのは、採算が合わなくなつたからだそう。五百円で、一日中、食べて遊んでいたのではとてもやつていけません。

久能山のような観光地であれば、観光の合間にいちご狩りをする人が多いのでやつしていくこともできますが……」「どうしたら安定した農業経営ができるか」という問題は、昔も今も変わらないこと。しかし、栽培方法は大きく変わつてきていると話される。

「露地栽培はありません。全部ハウス栽培です。もとになる苗も長久手の試験場から買っています。『女峰』という品種です。この品種からとれたいちごは、日もちが良く店から喜ばれます。それに、需要の多い十二月に出荷できるよう冷凍機を使って苗を育てていますよ。八月の夜だけ苗を冷凍機に入れ、朝になると出します。これを二十日ほど繰り返すと花芽ができるので植えかえてやります。こうすると十二月に実ができます。この冷凍機は、本郷だけ六台はありますね」

また、採り入れや出荷についても、「午前十時までに採つた物とそれ以後の物では硬さが全然違います。気温が高いと、実が軟らかくなつてしまい売れないでいるのです。だから、午後に採つた物は予冷庫に入れておきます」

まぬ研究と創意工夫がなされている。そ

うしなければ安定した農業経営ができなかつたの

からであろう。職業人としてのあり方を改めて教えられた。

「人手不足で困つています。後継者問題も悩みの種です。いちごはためておくことができませんから、土・日が休めません。だから、若い人は嫌がつてやります。私の家も年寄り二人でやつ

ています。しかし、いちごは需要も多く、収益も安定している作物です。少ない耕地面積で農業をやっていくにはいいですよ」

いちご作りの悩みや魅力を、明るく率直に語られる。その表情には、三十多年間、いちご作りの先頭に立つて歩んできた者の自信と誇りが漂つていた。

(生年月日 昭和三年八月二十八日)

住 所 岡崎市宇頭町出口六二



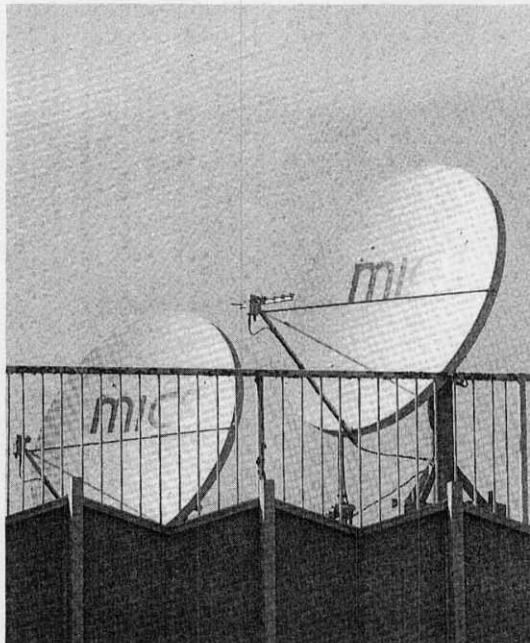
打ち消すのに躍氣。しかし、たとえ冗談にしろ「やらないよ」と言つてしまつた責任は重い。Kの発言をめぐつて、しばらくやりとりが続いた。

司会者はKに発言を求めた。Kはまじめな顔つきで「やりたくない」というのは本當です」と言つた。教室室内が騒然となりました。二班のTが発言を求めた。

「二班は、これまで方針で言つてきたことは必ずやつてきました。K君は、本心はやりたくない、正直に言つただけです。五班だって本当はやりたくないという人がいるのではないですか」

また、二班と五班のやりとりが続いた。数分後、司会者は五班にしゃべらせてくれという声を押さえてKを指名した。「やりたくない、というぼくの気持ちは変わらないけれど、ぼくは今まで、や学級で決めたことは、みんなちゃんとやつてきました。でも、こういう時に、かつこいいことばかり言つて、決めたことを守れない人が、このクラスにもたくさんいます。今までいろいろな係の活動をぶりかえつてみてください。やれないことを、どうしてやれる、と言うのですか。ひきょうじやないですか」

教室内の空気がびんと張りつめた。先生の指導を得て、本音を出したKがみんなから冷たく見られることはなかつた。この話し合いで、もしKの本音が出なかつたら、話し合いは形骸化し、実のあ



CATV  
**mics**  
MIKAWA CABLE TELEVISION SERVICE

## まちの情報局として期待される 有線テレビ

十一月三日、岡崎に西三河ニューステレビ放送（MICS=ミクス）が開局した。

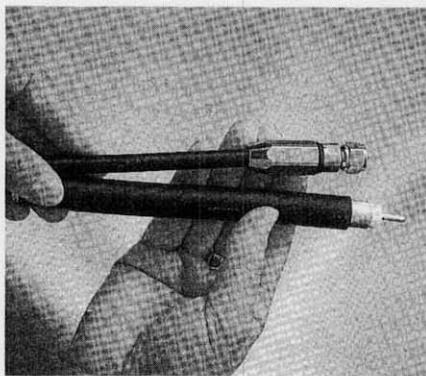
もともと、山間部やビルの谷間などの難視聴地域対策として利用してきた有線テレビ（CATV）であるが、使用されているケーブルがニュースメディアの主流となるのにふさわしい特性を持っていることから、新たに注目され期待されてきている。

ミクスは、伝送容量の多いこのケーブルを町中にはりめぐらし、各家庭のテレビと結ぶことにより、既存のテレビ放送九チャンネルに加えて、気象情報・ニュース・音楽・映画・マンガ・地元情報などを終日流している十九の専門チャンネルの受信を可能にする。このため、視聴者が求めようとする情報がいつでも自由に選択視聴できるという大きな魅力を持つている。特に、自主制作番組は、既存のテレビ放送では満たされない岡崎を中心とした地域の情報が提供される。

ミクスが暮らしの中で果たす役割は大きい。将来、六十チャンネルまでの拡張が可能なになつておおり、多角的な情報を求める都市住民の欲求を満たす放送システムといえる。

また、双方向通信機能が活用されるようになつてくると、情報提供だけでなく防災・防犯システムでの活用や住民のテレビを通じた対話なども可能になる。

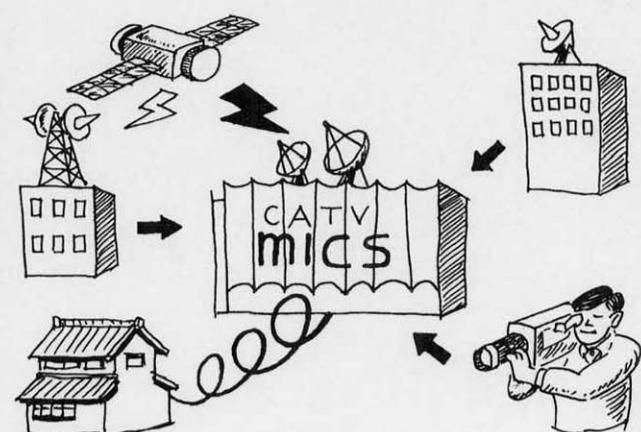
教育現場においては、地域情報の活用とともに、学校と地域との連携を深める上でも大きな役割を果たすことが期待されている。市民がいつでも画面に登場するテレビ局、親しまれる地元の放送局を目指し、十六名のスタッフでスタートした。



▲ UHFアンテナ線のような、至極普通のケーブルだが、この中を60チャンネル、しかも双方の情報が行き交う。

下は、町の中を走るケーブル。

上は、その線から各家庭への引き込み線。



▲ 世界中のニュースは人工衛星を通じて、MICSの屋上のパラボラアンテナでキャッチし、きれいな画像が各家庭に送られる。



▲ エレクトーンマラソンコンサートを取材  
中のMICSのカメラ  
行事は「ミクス創庫」の番組で放送する。



放送は、乙川河川敷特設ステージでのジャズコンサートであった。



▲ 放映用のストックをここで作っている。  
月報 岡崎の教育、「泉」の前身「点」からも取材し、  
ここで編集している。

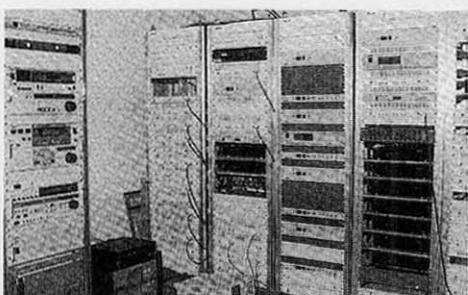


気象情報、まんが、映画などの専門チャンネルの番組は、それぞれ制作会社から購入して放映される。



▲ 自主制作番組の取材には、中継車が活躍する。  
中継車に積まれた大型モニターテレビで取材場面が即座に視聴できる。

▶ パラボラアンテナから飛び込んで来るあらゆる情報は、それぞれのチャンネルごとにこの機械で整理される。



ナレーションを考えながら、取材してきた画像を、時間に合わせてここで編集する。あれこれ考え、深夜▼に及ぶ作業となることが多い。



ケーブルを使って現在流している画面が、ここで確認される。視聴者は、この中から好きな画像を選んで見る▼ことができる。



六年生にとては小学校最後の運動会、本番で生涯の思い出に残るような組立体操をと願い当日に臨んだ。だが、非情にも私の思いと裏腹に、雨中の演技となってしまった。運動場は、ぬかるみ、ところどころに水たまりさえ見られる状態だった。そのため、演技の直前になつて寝転んだり、倒れたりするもの

き 最後の一人が上に登った。  
八つのピラミッドが横一列に並んだ。最後は、全員の顔を正面に向け終わろうか、崩しまでやろうか、どうしよう、と迷いながら笛をふいた。「ピーッ」七十八人全員の子が顔を上げた。ぐつと私の顔を見上げたこの時、中央の六年生組が「先生、やうう」とうなずいてくれた。この

六名小 鈴木 悟

番にケーブルをしていき  
子どもたちは自分の手で操作  
することに興味を持つ。黒板や  
OHPと同じ图形を表示するに  
しても引き付ける力はずいぶん  
違う。何度も繰り返すことが  
できる、条件を自由に変えて考  
示できる、などの利点のほかに  
最も大きいのは自分の判断で判  
断できる点であろう。

A black and white photograph showing five students in school uniforms gathered around a computer workstation. Four students are visible in the foreground, looking intently at the screen of a CRT monitor which displays a grid pattern. A fifth student stands behind them, also observing the screen. The setting appears to be a classroom or computer lab.

雨の中の絶立体操

常樂東小  
三橋  
香繩



はやめることになった。何ともやりきれない気持ちはまま指揮台に上がった。せっかく今日まで苦しい練習を積んできたのに、ふんぎれなままに始め、二人組の演技へと進んだ。ついいつものように笛をふいた。「まつた」子供たちの戸惑いの表情にはつとした。二人組の最初は土台の子が仰向けになり、上の子を持ち上げるウルトラマンだった。が、気づいた時にはもう土台となる数人がどうの運

気持ちに心うたれ、決心した。  
「ごめんね、がんばつて。」とい  
う気持ちで思いっきり笛をふい  
た。「オーッ」というかけ声で一  
斉に子供たちが折り重なり地面  
に伏した。最後の笛で立ち上がり  
た子供たちはどうで汚れたシ  
ヤツやトレパンを誇るかのよう  
ににこにこしていた。雨の中の  
組立体操、私にとつても忘れら  
れない思い出となつた。

立された方法である。これを負  
につけ、おいしいご飯をたける  
ようにするのが、本時のねらい  
であり、その確かめとしてパソ  
コンを利用したシミュレーション  
ゲームを取り入れた。これは  
実際に飛ばないライトシミュ  
レーターにより飛行機の操縦手  
順を身につけさせると同じじ  
ある。実際に炊飯を行つてもい  
いわけだが、少量では火加減や  
時間が変わってしまうなどの問  
題点がある。そこで、このよう

「正次さんばかりでない。私も  
にもやらせてよ」  
ふだんは消極的な美保が手を  
のばそうとする。以前、キーボ  
ードで操作をするソフトでは、  
こんな様子は見られなかつた。  
これはマウスというハンドスイ  
ッチで操作ができるようにした  
ためであろう。初めてでも使い  
こなすことができ、美保の（や  
れそうだ、やつてみたい）とい  
う気持ちにつながつたようだ。  
しかし、コンピュータは万能

教育自白

一  
返  
事  
上

1

たゞこの

くにできない。決して  
わりにはならない。

な方法を考えた。

の機械ではない。プログラムし

時間が変わってしまうなどの問題

う気持ちにつながつたようだ。

ある。実際に炊飯を行つてもい

こなすことができ、美保の（や

レーターにより飛行機の操縦手

ツチで操作ができるようにした

ンゲームを取り入れた。これは

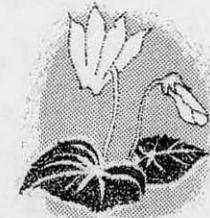
こんな様子は見られなかつた。

であり、その確かめとしてパソコンを利用してミニチュア化

のばそうとする。以前、キーボ

立された方法である。これを身につけ、おいしいご飯をたけるようこころづぎ、本寺のよう、「正次さんばかりでござるい。私もやらせてよ。」

## -お知らせ



第十八回 教育文化賞

杉坂・原田氏と三団体

岡崎市の教育や文化の振興に貢献した個人や団体の優れた業績をたたえる教育文化賞授賞式が、去る十一月十七日(土)岡崎市せきれいホールで行われた。本年度は、個人十三点、団体十七点の推薦があつた。選考の結果、次の個人二氏と三団体が受賞の栄誉に輝いた。

▼杉坂美典（三十八歳）  
個人  
岡崎市立葵中学校教諭  
蝶の研究に取り組み、「岡崎  
市の蝶」や新編岡崎市史の「岡  
崎市蝶類」を著している。蝶  
の飼育観察の授業や昆虫展によ  
る啓蒙活動にも尽力している。

昭和五十六年、点訳講習を受けた主婦が中心となり、点字図書館、岡崎盲学校、市立図書館などで点字奉仕を続けている。

この賞は、日本聴覚教育協会が、視聴覚教材活用等の優れた実績に対して贈る賞で、全国七十一機関・団体の応募から井田小学校が奨励賞を受賞した。

をふるつた。  
（入賞者）（一年は審査なし）

四位	矢作	三年	永田	克巳
五位	美川	三年	神尾	真裕美
六位	東海	三年	藤田	昌子
九位	南	三年	李	顯
十位	附属	三年	井野	令佳
<b>第九回全日本小学校バンドフ エステイバル</b>				
<b>連続九回出場、竜美丘小</b>				
十一月三日、竜美丘小学校吹奏楽部は、浜松アリーナで開催された当大会に東海代表として出場し、表現力豊かな演奏と高い評価を得た。当大会は、全国				

第四十回西三河中學校長距離

## 継走大会 矢北中女子優勝

特賞 藤川小寃先生  
奨励賞 竜南中山田先生

第三十五回 ソニー教育資金贈  
小森八千恵 金森有紀

五位	美川	三年	神尾真裕美
六位	東海	三年	
九立			
兩			
三			
平			
頃			

第二十七回 放送教育賞

獎勵賞 竜南中 山田先生

第三十五回 ソニー教育資金贈  
小森八千恵 金森有紀

五位	美川	三年	神尾真裕美
六位	東海	三年	
九立			
兩			
三			
平			
一			
頃			

人選 共同作

小森八千恵 金森有<sup>ゆ</sup>紀 第三十五回ソニー教育資金贈

五位	美川	三年	神尾真裕美
六位	東海	三年	
九立			
兩			
三			
平			
頃			

四位 矢作 三年 永田 克巳

五位	美川	三年	神尾真裕美
六位	東海	三年	
七位	藤田	昌子	
八位	大	頃	

三位	二位	優勝	順位 性
羽根	福岡	広幡	男子
本宿	上地	細川	女子

• 表紙写真

福岡中

相丹千  
川羽種  
たくみ

少年消防クラブ（EFC）は年間を通して各クラブごとに避難訓練、人工呼吸法、花火の正しい遊び方、消防庁舎の見学等が実施され、年間では七十回ほどの催しが行われている。

団単位による防火活動が展開され、大きな成果を上げている。ここに紹介した写真は、クラブが結成された時に、日本防火協会より各校に贈られた旗とヘルメットである。旗は、日本防火協会のシンボルを表し、制服やヘルメットはクラブ員としての自覚をもつ目的で配布された。現在では、六十の連合クラブが学校教育の一環として、火に対する知識を養い、火災予防への関心を高めるとともに、地域住民に対し、防災意識の高揚と防火思想の普及に努めている。



六名小学校

# 少年消防クラブ



*ことばのカルテ	吉田 金彦
創拓社	¥1600
*一生感動 一生青春	相田みつを
文化出版局	¥1700
*勝負と芸	藤沢 秀行
岩波新書	¥ 520
*虫のつぶやき 聞こえたよ	澤口たまみ
白水社	¥1400

※41歳寿命詫

情報センター出版局 ¥ 910

昭和34年以降に生まれた日本人の平均寿命は、まちがいなく41歳になる、というのが本書の結論である。高齢化社会の到来を既成の事実としている者にとっては、まさに衝撃的な話である。

快適と便利さの追求に明け暮れしてきた代償として、「食と環境の悪化」が深く進行し、日本人の生存条件を触んでいる。という著者の主張は説得力がある。

現代っ子の「からだのおかしさ」は、短命化の予兆なのであるうか。

少年消防クラブ（EFC）は年間を通して各クラブごとに避難訓練、人工呼吸法、花火の正しい遊び方、消防庁舎の見学等が実施され、年間では七十回もの催しが行われている。

この少年消防クラブは、昭和二十六年に各町単位で自主的に結成され、火の用心・夜まわり・防火ボスター・習字の展示等の火災予防活動を行っていた。昭和四十三年三月、クラブ開

団単位による防火活動が展開され、大きな成果を上げている。ここに紹介した写真は、クラブが結成された時に、日本防火協会より各校に贈られた旗とヘルメットである。旗は、日本防火協会のシンボルを表し、制服やヘルメットはクラブ員としての自覚をもつ目的で配布された。

現在では、六十の連合クラブが学校教育の一環として、火に対する知識を養い、火災予防への

関心を高めるとともに、地域住民に対し、防災意識の高揚と防火思想の普及に努めている。

岡崎に開局した有線テレビ「ミクス」を取材した。身近な街のテレビ局として期待をもって設立されただけに、優れた機材の導入、番組制作への意気込みなど活気に満ちていた。近い将来、教育現場での情報源として、また、地域や家庭と学校とを結ぶ情報手段として活用できることを待ちたい。

教える道も自然に尊くなるとの意味である。今年もまた教育問題が社会の注目を浴びた。登校拒否、非行問題等々その原因が様々な角度から追求された。教師として平成二年を振り返る時、このことばを胸に、謙虚に反省したいと思う。

シオ  
スア

スア

哀れさは 殊に桜の 冬木立 游辺  
日没が早い。部活の練習も慌ただしい  
春四月、子供たちの明るい顔と競いな  
がら咲く桜のトンネルも、今は寒々とし  
た姿をヘッドライトに浮かばせる。

二学期の文化行事もひと区切りつき  
今年の締めくくりの時期となつた。  
冬のスポーツを通して、子供らの持久  
力・忍耐力を伸ばすべく、心して体力作  
りに励みたいものである。

に備えて着実な生命の鼓動を響かせている蓄の息吹が聞こえてくる